

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議開催の案内は出しているが参加が少ない。外部評価の結果を見ている家族が少ない。	多角的視点から意見や要望を聞き活発な意見交換が出来る。	開催日の検討や、案内状だけの促しではなく面会時にも再度運営推進会議の趣旨の説明と参加の促しを行う。都合上、参加できない家族に対しては要望や意見がないか用紙で聞き取りを行うなどして、多くの家族に参加してもらえるようにする。職員の参加も限られた職員ばかりではなく現場からも参加できる仕組みを作る	12ヶ月
2	10	季節の外出は全員参加で出来ているが本人の要望に合った外出は出来ていない。普段の利用者の様子も家族に伝えきれていない。どんな生活を送っているか不透明な部分がある。	普段の関わりの中で個々のニーズを捉え計画し実施する。家族の面会時に普段の様子、外出時の様子を家族に伝える。定期的に行われるケア会議の参加を促し家族のニーズも反映していく。	限られたスタッフだけではなく、正規・定時間わず皆で外出支援に取り組む。家族の面会時に日頃の様子を伝える。外出した時は写真も一緒に見ってもらう。ケア会議への参加を促し家族の意見・本人の気持ちも聞き取りを行う。	12ヶ月
3	11	個々での面談はしているが正規スタッフ・定時スタッフが一緒に参加して意見を述べられる場が少ない。	正規・定時間わずケア会議・業務改善会議へ参加しスタッフ全体が協議出来る機会を定期的に開催する。	毎月行われるケア会議・業務改善会議にスタッフ全員が(フロア対応職員を除いた)参加する。参加出来ないスタッフに対しても会議の開催日時と内容を伝え意見用紙として提出してもらう。お互いに相手の意見を認め合い建設的な意見交換・協議の場とするよう取り組む。	12ヶ月
4	36	研修や指導はあるものの個々の人格の尊重・誇りやプライバシーを損ねない声掛けの配慮がなされていない。態度・口調など不適切な所もある。	認知症の人に対する理解を深める。相手に敬う気持ちを持ち適切な声掛け・ケアを行う。	学習会などを行い認知症を理解する。10の基本ケアの6章を理解する。不適切な声掛け・ケアをしているスタッフに見てもらうのではなく現場スタッフ全員で都度注意をしていく。スタッフ同士の会話より利用者さんとの関わり・会話を大切にする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。